

初期臨床研修プログラム：内科(腎・糖尿病内科)

コース責任者: 亀田茂美 指導医: 亀田茂美 上級医: 米沢正貴

コースの位置づけ: 必修科として、1~2 か月、選択科として1 か月から

I 一般目標(GIO: General Instructional Objective)

プライマリーケアに必要とされる内科の基本的知識と検査・診療手技を習得する。

腎疾患・糖尿病診療についての理解を深め、診療に必要な基本的知識や技能を習得する。

緊急性のある腎疾患・糖尿病患者の異常事態に対しての初期対応が出来るようにする。

腎機能が低下した患者および透析患者の管理が出来るようにする。

良好な患者医師関係の構築およびチーム医療が実践できる。

II 行動目標(SBOs :Structural Behavior Objectives)

- ① 病歴聴取や身体所見評価の技法を習得する。
- ② 尿所見や血液検査，エコーや CT などの画像検査を計画し，その結果を解釈する。
- ③ ネフローゼ症候群，糸球体腎炎などの代表的な腎疾患についての理解を深め，診察できるようにする。
- ④ 腎生検の意義と適応を理解し，腎生検の施行および病理組織の診断と治療（食事療法・薬物療法）方針の決定を指導医のもとで実施し理解する。
- ⑤ 急性腎障害の鑑別診断を習得し，急性血液浄化療法の適応を検討する。
- ⑥ 慢性腎不全の保存療法についての知識を深め管理ができるようにする。
- ⑦ 慢性透析の導入や基本的管理と合併症の治療についての知識を深め管理ができるようにする。
- ⑧ 内シャントを指導医とともに作成しバスキュラーアクセスの管理を習得する。また，バスキュラーアクセス管理として，診察・画像検査を指導医とともにを行い，シャント PTA の適応を理解し，実施する。
- ⑨ 腎疾患以外に対する血液浄化療法（血漿交換療法など）の適応について理解し，各種血液浄化療法を指導医とともに導入し管理する。
- ⑩ 糖尿病の食事指導・運動指導・薬物療法について理解し患者に指導し、マネジメントできる。また，糖尿病の合併症を評価できる。

III 学習方略(LS: Learning Strategy)

必須事項：尿所見異常，腎機能障害，高血圧，浮腫，血液ガス・電解質異常，血糖異常などを有する症例を経験する。慢性透析の導入，維持透析の管理，各種透析合併症の治療を経験する。

病棟診療：指導医とともに病棟入院患者，維持透析の外来患者を受け持ち，検査，治療，管理をしていく。

腎生検，シャント作成・シャントP T A等にかかわり一定の技術を習得する．

糖尿病教育・インスリン注射指導等にかかわり，受け持ち患者をマネジメントする．

業務：カンファレンス・症例検討会などで症例を提示し，文献的考察も行い知識や考察力を高め
ていく．

IV学習評価(Ev: Evaluation)

知識：レポート，症例提示，EPOC 対応

技能：診察，技術等に関して観察記録，スケールで評価；指導医

態度：観察記録評価；指導医，看護師・ME他コメディカル

当科でのレポート作成が適している項目：腎・泌尿器系（腎不全・原発性糸球体疾患・全身性疾
患），糖代謝異常

腎・糖尿内科研修における週間予定

曜日	午前	午後
月	病棟回診・透析回診	
火	病棟回診・外来診療	腎生検 透析検討会
水	病棟回診・透析回診	腎検討会
木	病棟回診・透析回診	シャント手術
金	病棟回診・外来診療	シャントP T A